

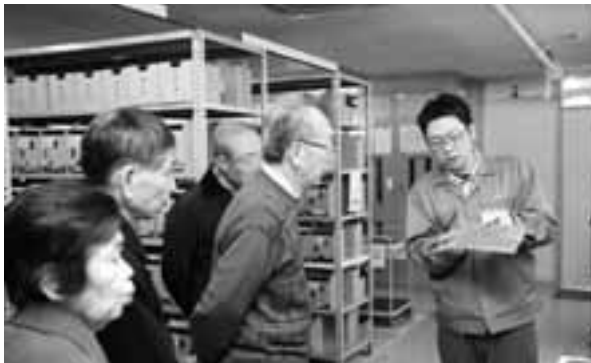
# Photo ホットほっと

2/5(金)  
~6(土)

## 春日井の知恵と技、 ここにあり

(総合体育館)

今年で3回目を迎える「かすがい発見ビジネスフォーラム」が開催され、市内の94企業による112のブースが会場狭しとばかりに並びました。また、初日には「産業観光(工場見学会)」が行われ、市内2社を訪問。2日目に開催された「子ども職場体験道場」では、子どもたちが「マイ箸(はし)」作りに挑戦し、楽しくエコや仕事について学びました。



2/2(火)  
~5(金)

## 春日井サボテン、東京へ

(東京ビッグサイト)

商工会議所の共同展示商談会「feel NIPPON」(東京国際ナショナルギフトショー併催)に春日井商工会議所が出展し、サボテン関連商品をPRしました。目玉はサボテン発泡酒とインスタントサボテンラーメン。サボテンに着目したのは面白いと、どちらも国内のバイヤーの熱い視線が注がれていました。



2/6  
(土)

## 初めての楽器、 初めての音色

(交通児童遊園)

琴や尺八、パーカッション。名前は知っていても実際に音を出す機会はなかなかないものです。そんな楽器を体験する講座が行われ、好奇心旺盛な小学生たちは、講師の指導に従って、演奏法を学んだり、合奏を楽しんだりしました。



2/6

±

## 今できることから 認知症予防

(総合福祉センター)

認知症についての正しい知識と理解を深め、安心して暮らすため、市認知症地域連携の会の主催で「認知症市民講座」が開催されました。今回のテーマは「認知症における最新情報」。最新の予防法や治療法などの話に、参加者の皆さんは真剣に耳を傾けていました。この講座は、毎月1回開催されています。



2/6

±

## お父さんと一緒

(市子育て支援センター)

「普段は忙しくて、子どもと触れ合う機会が少なくで…」というパパたち。この日は、触れ合い遊びやゲームを通して、子どもとどのように接するかを体験しました。「今日はとても楽しかったです。また参加したいですね」と、かわいい盛りの子どもと触れ合う楽しさを笑顔で実感していました。



# 春日井 創想

市長 伊藤 太

### 夕張シンポジウム

「届け！夕張からの熱いメッセージ」と題したシンポジウムを、春日井市や近隣市の職員、市民の皆さんの参加を得て開催しました。冒頭に夕張市が炭鉱の町として栄えた過去、財政破たんに至った経緯、そして現状についてスライドを使った説明があり、集った190名が共有した後、春日井市から夕張市に派遣した2人の職員、東京都、日立市から派遣されている職員、そして夕張市の職員によるパネルディスカッションを行いました。

パネラーの若者たちは、自らが夕張市の職員として現場を体験し、学び・考え、そして実践していることを率直に語ってくれました。「行政も市民も、炭鉱社会に頼っていた。閉山後も国が何とかしてくれるという甘い考えがあった。」「行事や雪割などの作業に市民参加の機運が出てきている。」「半数以下となった職員が自分の仕事はもちろんのこと、お互いに助け合って仕事をしている。」「市の職員としてやりがいを持って市民サービスに努めることが肝心」など、改めて伝えられることばかりでありました。

春日井市を外から見る機会を与えたい、その経験を生かして欲しい、また多くの職員に伝えてほしいという思いが、確実に広がっていると感じたシンポジウムでした。